

令和6年度 公社等経営評価シート
(対象期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日)

概要	名 称	公益財団法人宮崎県老人クラブ連合会		所在地	宮崎市原町2-22 宮崎県福祉総合センター内		
	電話番号	0985-25-7800		ホームページ	http://www.mivarouren.jp		
	設立年月日	昭和50年4月23日	代表者	会長 竹中 隆志	県所管部・課	福祉保健部 長寿介護課	
	総出資額	11,063 千円		県出資額	0 千円	県出資比率	0.0%
	設立目的	この法人は、老人クラブ活動を通じて高齢者の生きがいと健康づくりに資する活動並びに地域を豊かにする社会活動を行い、高齢者福祉の向上と地域社会の健全な発展に寄与することを目的とする。					
	特記事項						

		内容	令和4年度	令和5年度	令和6年度
改革工程	①公社等のあり方見直し	適正なあり方についての継続的な見直し	① 高齢者福祉の向上と地域社会の発展に寄与するため、老人クラブ活動のリーダー育成に努めた。 ② 地域支援事業を担う単位老人クラブへの指導の拡大を図った。	① 高齢者の社会参加や明るい地域づくり等重要な役割を果たしていくため、老人クラブ活動のリーダー育成に努めた。 ② 地域支援事業を担う単位老人クラブへの指導の拡大を図った。	① 高齢者の社会参加や明るい地域づくり等重要な役割を果たしていくため、老人クラブ活動のリーダー育成に努める。 ② 地域支援事業を担う単位老人クラブへの指導の拡大を図る。
	経営・事業運営改善	事業内容の点検・見直し	① 事業運営について、理事会及び評議員会にて議論し、点検・見直しを行った。 ② 市町村老連と連携し、効果的な事業運営に努めた。	① 事業運営について、理事会及び評議員会にて議論し、点検・見直しを行った。 ② 市町村老連と連携し、効果的な事業運営に努めた。	① 事業運営について、理事会及び評議員会にて点検・見直しを行うとともに、若手・女性委員会を開催し、若手や女性の意見を取り入れる。 ② 市町村老連と連携し、効果的な事業運営に努める。
	②公社等の経営見直し	財務改善	① 補助金の依存度が高く、自主財源が全財源の半分以下であった。 ② 会員増強に取り組み、会費収入の減少幅が少なくなるように努めた。	① 補助金の依存度が高く、自主財源が全財源の半分以下であった。 ② 会員増強に取り組み、会費収入の減少幅が少なくなるように努めた。	① 補助金の依存度が高く、自主財源が全財源の半分以下である。 ② 会員増強に取り組み、会費収入の減少幅が少なくなるように努める。 ③ 予算の執行状況を見直し、より効率的な予算執行に努める。
	組織等適正化	・組織適正化に向けた継続的検討 ・県下老人クラブ会員数の拡大	① 県内外を問わず、連絡会議及びセミナー等に積極的に参加し、職員の能力向上に努めた。 ② 市町村老連に対する助成金をはじめとした新規会員獲得のための取組を推進した。	① 県内外を問わず、連絡会議やセミナー等に積極的に参加し、職員の能力向上に努めた。 ② 市町村老連に対する助成金や会員増に成功した取組例を参考にするなど、新規会員獲得のための取組を推進した。	① 県内外を問わず、連絡会議やセミナー等に積極的に参加し、職員の能力向上に努める。 ② 市町村老連に対する助成金や会員増に成功した取組例を参考にするなど、新規会員獲得のための取組を推進する。

③ 県と公社等の関係見直し	人的支援見直し	適切な支援内容の継続的検討	① 職員数は前年度と同数であった。 ② 組織を取り巻く環境の変化から、少人数で多くの事務量を処理する必要がある、引き続き効率的な業務遂行に努めた。	① 職員数は前年度と同数であった。 ② 組織を取り巻く環境の変化から、少人数で多くの事務量を処理する必要がある、引き続き効率的な業務遂行に努めた。	① 職員数は前年度と同数である。 ② 組織を取り巻く環境の変化から、少人数で多くの事務量を処理する必要がある、引き続き効率的な業務遂行に努める。
	財政支出見直し	県補助金の見直し	法人の性格上、県補助金の割合が高くならざるを得ないが、適切かつ効率的な執行に努めた。	法人の性格上、県補助金の割合が高くならざるを得ないが、適切かつ効率的な執行に努めた。	法人の性格上、県補助金の割合が高くならざるを得ないが、適切かつ効率的な執行に努める。
	④情報公開推進	適切な情報公開の継続	① 法人HPにおいて、事業概要、事業報告等の周知を図った。 ② 財務状況等については、引き続き理事会、評議員会資料として、議事録を含め閲覧できる体制をとった。	① 法人HPにおいて、事業概要、事業報告等の周知を図った。 ② 財務状況等については、引き続き理事会、評議員会資料として、議事録を含め閲覧できる体制をとった。	① 法人HPにおいて、事業概要、事業報告等の周知を図る。 ② 財務状況等については、引き続き理事会、評議員会資料として、議事録を含め閲覧できる体制をとる。

県関与の状況	人的支援	(人)	令和5年度				令和6年度			
			合計	県職員	県退職者	左記以外の者	合計	県職員	県退職者	左記以外の者
		役員数	13	0	2	11	13	0	2	11
		常 勤	1	0	1	0	1	0	1	0
		非常勤	12	0	1	11	12	0	1	11
		職員数	2	0	1	1	2	0	1	1
	財政支出等	(千円)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	(千円)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		県委託料	0	0	0	県借入金残高	0	0	0	
		県補助金	12,936	13,473	13,473	県の損失補償契約等に基づく債務残高	0	0	0	
		県交付金・負担金・出資金	0	0	0	県職員人件費(県支給分)	0	0	0	
その他の県からの支援等										

主な県財政支出の内容	事業名		事業内容	令和5年度 決算額(千円)	令和6年度 予算額(千円)	種別
	①	宮崎県老人クラブ連合会活動推進員設置事業	公益財団法人宮崎県老人クラブ連合会が実施する老人クラブ等活動推進員設置事業に対して補助することにより、単位老人クラブ及び市町村老人クラブ連合会に対し、適切な指導、助言等を与え、高齢者の社会参加の中心母体である老人クラブ等の活動促進を図る。	8,189	8,189	補助金
	②	宮崎県老人クラブ連合会支援事業	公益財団法人宮崎県老人クラブ連合会が実施する老人クラブ等活動推進員設置事業に対して補助することにより、単位老人クラブ及び市町村老人クラブ連合会に対し、適切な指導、助言等を与え、高齢者の社会参加の中心母体である老人クラブ等の活動促進を図る。	5,284	5,284	補助金
	③					
	④					
	⑤					

実施事業	①リーダー養成事業 ③老年開発講師団派遣事業 ⑤大会の開催 ⑦「老人の日・老人週間」	②健康づくり事業 ④地域文化伝承事業 ⑥作品展示会事業 「全国一斉社会奉仕の日」の活動
------	---	--

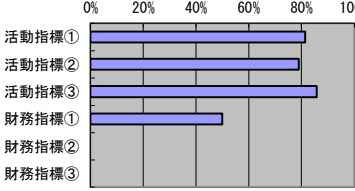
活動指標	指標名	算式(単位)	令和5年度			令和6年度	令和7年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	目標値
	① 宮崎県さんさんクラブ大会参加人数	(人)	900	732	81.3%	900	900
	② さんさんクラブ宮崎作品展示会出品数	(点)	490	387	79.0%	490	490
	③ シルバーボランティアリーダー研修会受講者数	(人)	700	600	85.7%	700	700
指標の設定に関する留意事項							

財務状況	正味財産増減計算書 (千円)				貸借対照表 (千円)			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度
	経常収益	17,577	17,858	17,603	資産	109,240	106,894	103,110
	経常費用	18,022	19,990	21,176	流動資産	5,953	3,834	3,414
	当期経常増減額	-445	-2,132	-3,574	固定資産	103,287	103,060	99,696
	経常外収益	0	0	0	負債	141	226	451
	経常外費用	470	227	365	流動負債	141	226	451
	当期経常外増減額	-470	-227	-365	固定負債	0	0	0
	税引前当期一般正味財産増減額	-915	-2,359	-3,938	正味財産	109,098	106,668	102,659
	法人税・住民税及び事業税	71	71	71	指定正味財産	0	0	0
	当期一般正味財産増減額	-986	-2,430	-4,009	(うち基本財産への充当額)	0	0	0
	一般正味財産期首残高	110,084	109,098	106,668	(うち特定資産への充当額)	0	0	0
	一般正味財産期末残高	109,098	106,668	102,659	一般正味財産	109,098	106,668	102,659
	当期指定正味財産増減額	0	0	0	(うち基本財産への充当額)	10,146	10,117	10,045
	指定正味財産期首残高	0	0	0	(うち特定資産への充当額)	93,141	92,943	89,651
	指定正味財産期末残高	0	0	0				
	正味財産期末残高	109,098	106,668	102,659				

※千円未満を四捨五入して表示しているため、合計の金額と一致しない場合があります。

財務指標	指標名		算式 (単位)	令和5年度			令和6年度	令和7年度
				目標値	実績値※	達成度 (%)	目標値	目標値
	①	自己収入比率	(基本財産運用収入+特定資産運用収入+自己収入+自主事業収入) ÷ 経常費用 × 100 (%)	33.0	16.5	50.0%	33.0	33.0
		※ 令和5年度 実績値の算式	(40,000円+225,000円+3,032,000円+210,000円) / 21,176,456円 × 100 (%)					
	②	※ 令和5年度 実績値の算式						
指標の設定に関する留意事項								

直近の県監査の状況	
-----------	--

総合評価	公社等自己評価	改革工程に従い事業推進に努め、新型コロナウイルス感染症の5類移行により、すべての事業を制限なく行うことができたが、未だにその爪痕は深く残っている状況である。 加えて、定年延長や再雇用、さらには人々の価値観の多様化などにより、高齢者の中でも比較的若い60代の加入がほとんど見込めない状況となっており、目標値の達成は困難な状況となっている。会員加入促進策についても、令和3年度から助成制度を設けるなど、市町村老連の活動支援に努めたが、全国的な傾向には逆えず、傘下クラブ数、会員数共に減少傾向に歯止めをかけることはできなかった。				県所管部課二次評価	改革工程に従い、概ね計画通りに進んでいるが、老人クラブ会員数が減少したことによる会費の減や収益事業（指定旅館・ホテル事業）の廃止により、自己収益が減少し、自己収入比率の低下が続いている。 県老連若手委員会や女性部部長会などの意見も取り入れながら、会員増強に成功した自治体の事例を周知するなど、会員加入促進のための方策を検討する必要がある。 また、コロナ禍からの活動全面再開により事業費が増加している（新型コロナ前の水準に戻っている）が、収益は減少していることから経常赤字となっている。予算の執行状況を見直し、より効率的な事業運営に努める必要がある。			
	評価 (A:良好、B:ほぼ良好、Cやや課題あり、D課題多い)	改革工程	活動内容	財務内容	組織運営	評価 (A:良好、B:ほぼ良好、Cやや課題あり、D課題多い)	改革工程	活動内容	財務内容	組織運営
		B	C	C	B		B	C	C	B
	目標達成度					公社等改革推進委員会三次評価	活動内容については、いずれの指標も目標値を下回っているものの、大会参加人数や研修受講者数が前年度より大きく増加している点で評価できる。 財務内容については、目標を達成しておらず、経常赤字も続いている。 定年延長等により会員の増加が難しい状況にある中、引き続き、多様な意見を反映した取組により、会員加入の促進を進めていくとともに、経費節減にも努めていくことが求められる。			